講義名称	保育内容（環境）指導法
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	２年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24106231

担当教員

氏名	所属
◎ 村上　知子	短期大学部・幼児教育学科

授業概要	領域「環境」のねらいや内容について理解し、子どもに育みたい資質・能力を育成するための環境構成力を学ぶ。 具体的な保育を想定した指導案を立案し、模擬保育を行ない、その振り返りを通して子どもが望ましい体験ができるための援助や保育を構想する力（PDCAサイクル）を身につける。
到達目標	（１）幼稚園教育要領等に示された基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。 （２）子どもの発達や学びの過程を理解し、領域「環境」の具体的な保育場面を想定した保育を行い、保育を構成する力や指導方法を身につける。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 幼児教育の基本と領域「環境」のねらい及び内容を学ぶ。 【事前事後学修の内容】 1歳以上３歳未満児の領「環境」と３歳以上児の領域「環境」の違いを調べてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第2回	【授業計画】 子どもの育ちと領域「環境」の指導上の留意点 【事前事後学修の内容】 領域「環境」の指導上の留意点と他の領域の指導上の留意点と比べてその特徴をまとめてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第3回	【授業計画】 自然に親しみ、植物や生き物に触れる －模擬保育に向けて、提案内容を考える－ 【事前事後学修の内容】 指導案を考え、模擬保育の準備をしてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第4回	【授業計画】 自然に親しみ、植物や生き物に触れる　ー模擬保育を行う。 【事前事後学修の内容】 各自の模擬保育を振りかえり、改善点を考える。また、他のグループの模擬保育へのルーブリックをもとに、改善点を提案できるようにまとめてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90

第5回	【授業計画】 自然に親しみ、植物や生き物に触れるー発表後の振り返り、質疑応答、コメント（グループワーク）	
	【事前事後学修の内容】 模擬保育を振り返り、POCDにまとめて、次回レポートを提出する。	【事前事後学修時間（分）】 90
第6回	【授業計画】 ものや道具にかかわって遊ぶ（ICTの活用）　－模擬保育に向けて、提案内容を考える－	
	【事前事後学修の内容】 指導案を考え、模擬保育の準備をしてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第7回	【授業計画】 ものや道具にかかわって遊ぶ（ICTの活用）ー模擬保育を行う。	
	【事前事後学修の内容】 各自の模擬保育を振りかえり、改善点を考える。また、他のグループの模擬保育へのルーブリックをもとに、改善点を提案できるようにまとめてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第8回	【授業計画】 ものや道具にかかわって遊ぶ（ICTの活用）ー模擬保育後の振り返り、質疑応答、コメント（グループワーク）	
	【事前事後学修の内容】 模擬保育を振り返り、POCDにまとめて、次回レポートを提出する。	【事前事後学修時間（分）】 90
第9回	【授業計画】 文字や標識、数量や図形に関心をもつ　－模擬保育に向けて提案内容を考える－	
	【事前事後学修の内容】 指導案を考え、模擬保育の準備をしてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第10回	【授業計画】 文字や標識、数量や図形に関心をもつ　ー模擬保育を行う	
	【事前事後学修の内容】 各自の模擬保育を振りかえり、改善点を考える。また、他のグループの模擬保育へのルーブリックをもとに、改善点を提案できるようにまとめてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第11回	【授業計画】 文字や標識、数量や図形に関心をもつー模擬保育後の振り返り、質疑応答、コメント（グループワーク）	
	【事前事後学修の内容】 模擬保育を振り返り、POCDにまとめて、次回レポートを提出する。	【事前事後学修時間（分）】 90
第12回	【授業計画】 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ（ICTの活用）－模擬保育に向けて、提案内容を考える－	
	【事前事後学修の内容】 指導案を考え、模擬保育の準備をしてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第13回	【授業計画】 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ（ICTの活用）ー模擬保育を行う	
	【事前事後学修の内容】 各自の模擬保育を振りかえり、改善点を考える。また、他のグループの模擬保育へのルーブリックをもとに、改善点を提案できるようにまとめてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第14回	【授業計画】 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ（ICTの活用）ー模擬保育後の振り返り、質疑応答、コメント（グループワーク）	
	【事前事後学修の内容】 模擬保育を振り返り、POCDにまとめて、次回レポートを提出する。	【事前事後学修時間（分）】 90

第15回	【授業計画】 子どもと環境のかかわりを捉える視点、幼児教育の現代的課題 小学校との連携、小学校の教科等とのつながり	
	【事前事後学修の内容】 幼児教育の現代的課題について調べてくる。	【事前事後学修時間（分）】 90

履修に必要な予備知識や技能	教科書を読み、模擬保育に向けて、各自およびグループで具体案を考えておくこと。
課題に対してのフィードバック	発表内容と課題について、コメントする。レポートおよび定期試験の照会は、研究室にて対応する。
評価方法・基準	定期試験40%、グループ発表40%、受講態度（授業への参加度、事前学習）20%
教科書	教科書：「保育内容　環境」酒井幸子、守巧（萌文書林） 参考書：「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園　教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレーベル館）
実務経験の内容・期間	保育士（８ヶ月）、幼稚園教諭（２０年）